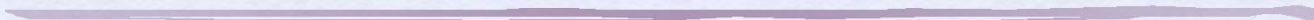


[XAMPP版] 監視モニター

レイアウト作成



レイアウト作成

- 1 グループレイアウト作成
- 2 ホストレイアウト作成
- 3 監視ホスト追加
- 4 レイアウト取り換え
- 5 監視モニターで確認
- 6 Localhostをエージェント監視へ変更
- 7 監視モニターで確認

レイアウト作成

1 グループレイアウト作成

1.1 グループ名、グループ数

title1 title2 title3 title4

SNMP監視結果

リソースグラフ

プロットグラフ

▼ 設定メニュー

監視ホスト追加

監視ホスト修正

管理情報

ヘッダ情報

サーバー画像管理

▼ レイアウトメニュー

ホストレイアウト変更

保存・読込・削除

グループレイアウト作成

ホストレイアウト作成

php ▼ グループレイアウト作成 その1 ▼

☆作成するレイアウト名称（半角英数8文字以内）およびグループの数を入力して下さい

レイアウト名称	グループ数
graph	1

実行

[監視モニターへ戻る](#)

- ①メニュー「グループレイアウト作成」選択
- ②レイアウト名称に半角英数の名称を入力
- ③グループ数に作成するグループ数入力
- ④「実行」ボタンクリック

レイアウト作成

1 グループレイアウト作成

1.2 ホスト数、段数

title1 title2 title3 title4

php

▽ グループレイアウト作成 その2 ▽

☆グループ名：日本語も可能です
☆配置順序：グループを上から縦に配置する、上からの連続番号です
☆1段のホスト数：グループ内のホストを横に展開する数で、標準では8です
☆段数：1グループのホスト数が多いとき下の段に配置します
例：5段で1行のホスト数が8の場合、1グループホスト数は40ホストになります

レイアウト名称: graph グループ数：1

グループ名	配置順序	1段のホスト数	段数
グラフ	1	3	1

実行

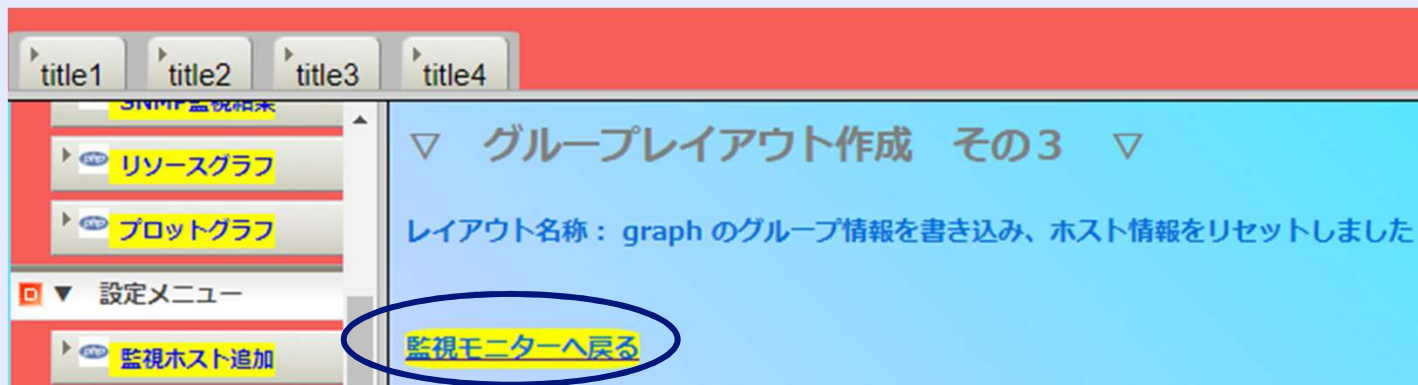
[監視モニターへ戻る](#)

- ①グループ名にグループ表示名入力
- ②一段のホスト数(横展開ホスト数)を数値で入力
- ③②を何段作るか段数を数値で入力
入力例は、グラフグループに1段3つのホスト
- ④「実行」ボタンクリック

レイアウト作成

1 グループレイアウト作成

1.3 モニターで戻る

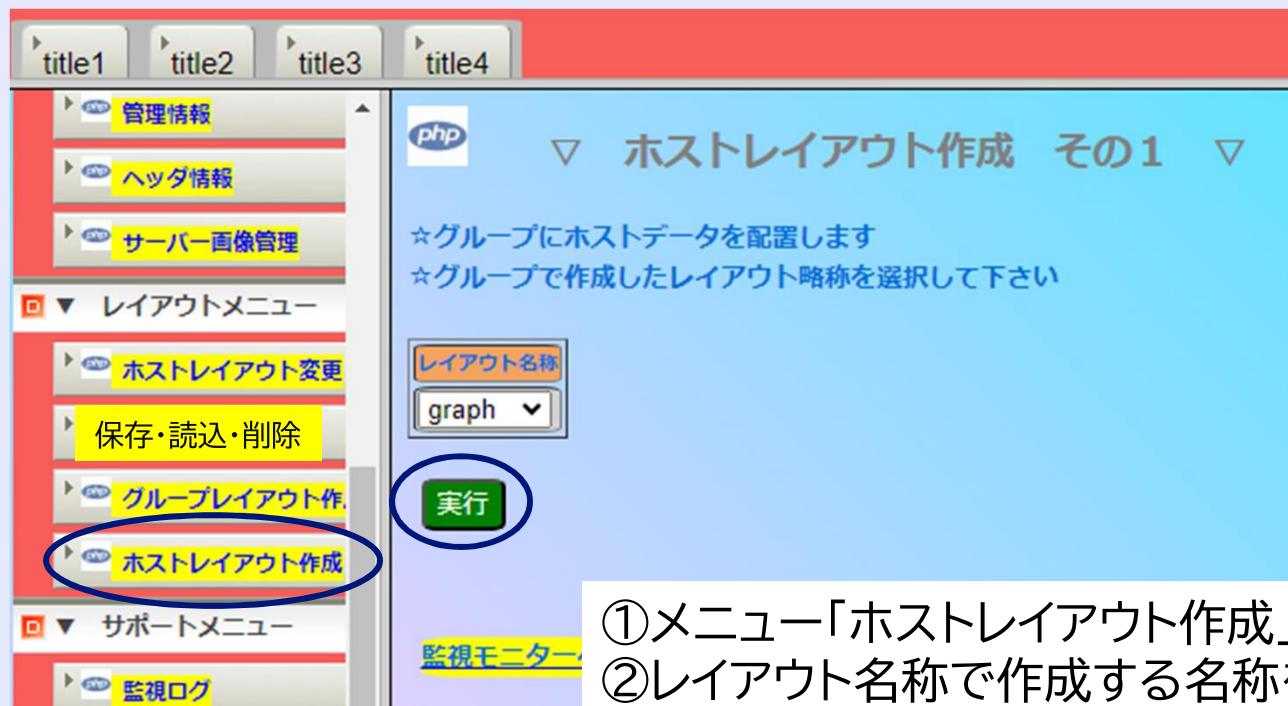


- ①グループレイアウトを作成したので
「監視モニターへ戻る」をクリックします

レイアウト作成

2 ホストレイアウト作成

2.1 レイアウト名選択



- ①メニュー「ホストレイアウト作成」選択
- ②レイアウト名称で作成する名称を選択
- ③「実行」ボタンクリック

レイアウト作成

2 ホストレイアウト作成

2.2 グループ選択

The screenshot shows a web application interface for creating a host layout. The interface includes a sidebar menu, a main content area with a title bar, and a table for selecting groups. A green '実行' (Execute) button is highlighted with a red circle.

title1 title2 title3 title4 Logout

管理情報

ヘッダ情報

サーバー画像管理

レイアウトメニュー

ホストレイアウト変更

保存・読込・削除

グループレイアウト作成

ホストレイアウト作成

サポートメニュー

監視ログ

コア再起動

メール設定・送信

php **▽ ホストレイアウト作成 その2 ▽**

ホスト配置情報入力グループ選択

レイアウト名称 : graph

☆下記のグループ情報が入力されています
☆グループ内のホスト配置入力するグループを1つ選択して「入力実行」を実行します、
☆全てのグループのホスト配置欄が「入力済」の場合、情報修正になります

選択	グループ名	配置順序	行ホスト数	段数	ホスト配置
<input checked="" type="radio"/>	グラフ	1	3	1	未入力

実行

監視モニターへ戻る

- ①作成するグループ段の左端の選択をクリック
例はグループに1段のみである
- ②「実行」ボタンクリック

レイアウト作成

2 ホストレイアウト作成

2.3 ホスト名入力

title1 title2 title3 title4

管理情報
ヘッダ情報
サーバー画像管理

レイアウトメニュー

- ホストレイアウト変更
- 保存・読込・削除
- グループレイアウト作成
- ホストレイアウト作成

サポートメニュー

- 監視ログ
- コア再起動
- メール設定・送信

▽ ホストレイアウト作成 その3 ▽

ホスト配置情報入力

☆各々のホスト名下欄にIPアドレスまたは名前解決できるホスト名を入力する
入力の無い場合は空欄でレイアウトします

グループ名 : グラフ

ホスト名	ホスト名	ホスト名
127.0.0.1	192.168.1.155	192.168.1.139

実行

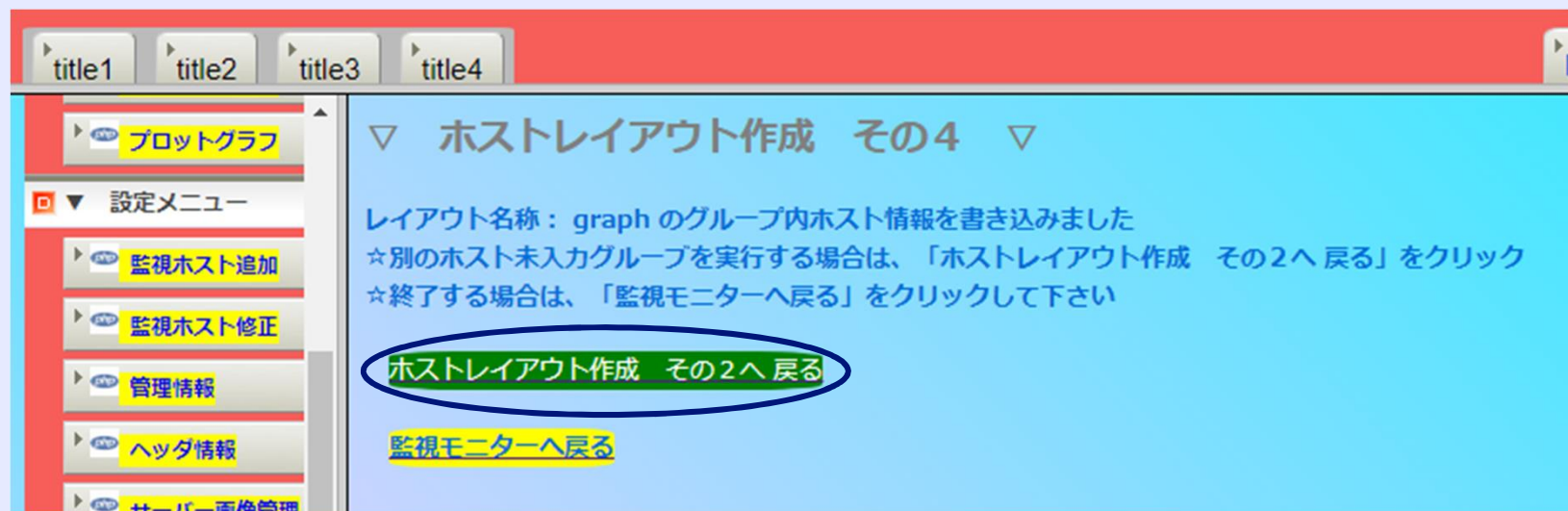
[監視モニターへ戻る](#)

- ①ホスト名の下段に関しホストのIPアドレスまたは完全修飾ホスト名を入力
例はLAN内のプライベートIPアドレス、入力を省略すると空になる
- ④「実行」ボタンクリック

レイアウト作成

2 ホストレイアウト作成

2.4 確認のため戻る



①1段作成したので、確認のため「ホストレイアウト その2へ戻る」をクリック

レイアウト作成

2 ホストレイアウト作成

2.5 確認後モニターへ戻る

title1 title2 title3 title4 Logout

管理情報
ヘッダ情報
サーバー画像管理

レイアウトメニュー

- ホストレイアウト変更
- 保存・読込・削除
- グループレイアウト作成
- ホストレイアウト作成

サポートメニュー

- 監視ログ
- コア再起動
- メール設定・送信

php ▽ ホストレイアウト作成 その2 ▽

ホスト配置情報入力グループ選択

レイアウト名称: graph

☆下記のグループ情報が入力されています
☆グループ内のホスト配置入力するグループを1つ選択して「入力実行」を実行します、
☆全てのグループのホスト配置欄が「入力済」の場合、情報修正になります

選択	グループ名	配置順序	行ホスト数	段数	ホスト配置
<input type="radio"/>	グラフ	1	3	1	入力済

実行

[監視モニターへ戻る](#)

- ①1段作成完了した、ホスト配置欄の入力済を確認
- ②「監視モニターへ戻る」をクリック

レイアウト作成

3 監視ホスト追加

3.1 ホストデータ追加入力（未作成のホスト）

①ホスト名、表示名、OS種類、コミュニティ名を入力
その他は後程修正するとして、そのまま

②「作成」ボタンをクリック

☆各項目の文字列間に空白を入れないこと（例：[abc def]はNG, [abcdef]または[abc_def]はOK）

ホスト名： 192.168.1.155 モニター画像： 一般Server ▼

表示名： WindowsServer コミュニティ名： public

OS種類： Windows ▼ 死活動作： SNMP監視 ▼ メール要非： メール非送信 ▼

以下、入力オプション

TCPチェックポート： 22

☆閾値の前半は警告値、後半は危険値、これを：（コロン）で区切ります
☆グラフが表示出来ますので入力して下さい。デフォルトは 80:90です

CPU閾値： 80:90 メモリ閾値： 80:90 ディスク閾値： 80:90

監視プロセス： httpd

☆インターネット内サーバーのプロセスには、先頭に「&」を入力します（例：&apache;sendmail）
ただし、監視対象サーバには、プライベートMIBとCRONTABの設定が必要です。

作成

監視モニターへ戻る

レイアウト作成

3 監視ホスト追加

3.2 別のホストデータ入力

title1 title2 title3 title4 [Logout](#)

設定メニュー

- 監視ホスト追加
- 監視ホスト修正
- 管理情報
- ヘッダ情報
- サーバー画像管理

レイアウトメニュー

- ホストレイアウト変更
- 保存・読込・削除
- グループレイアウト作
- ホストレイアウト作成

サポートメニュー

- 監視ログ
- コア再起動
- メール設定・送信
- Webエラーログ
- プロットログ
- ログ削除

一般Server

☆各項目の文字列間に空白を入れないこと（例：[abc def]はNG, [abcdef]または[abc_def]はOK）

ホスト名： 192.168.1.139 モニター画像： 一般Server ▼

表示名： UnixServer コミュニティ名： public

OS種類： Unix/Linux ▼ 死活動作： SNMP監視 ▼ メール要非： メール非送信 ▼

以下、入力オプション

TCPチェックポート： 22

☆閾値の前半は警告値、後半は危険値、これを：（コロン）で区切ります
☆グラフが表示出来ますので入力して下さい。デフォルトは 80:90です

CPU閾値： 80:90 メモリ閾値： 80:90 ディスク閾値： 80:90

監視プロセス： httpd

☆インターネット内サーバーのプロセスには、先頭に「&」を入力します（例：&apache;sendmail）
ただし、監視対象サーバには、プライベートMIBとCRONTABの設定が必要です。

作成

[監視モニターへ戻る](#)

レイアウト作成

4 レイアウト取り換え

4.1 作成したレイアウトを現用へ

title1 title2 title3 title4

管理情報

ヘッダ情報

サーバー画像管理

▼ レイアウトメニュー

ホストレイアウト変更

保存・読込・削除

グループレイアウト作成

ホストレイアウト作成

▼ サポートメニュー

監視ログ

コア再起動

php ▼ レイアウト保存、読み込み ▼

☆レイアウト名を「○」で選択して、「実行ボタン」をクリックして下さい

☆レイアウト名「現用」は現在使われているレイアウトです、これを保存する場合は、「選択」の上、保存先に8文字以内の英数を入力し、「現用を保存先へ保存」を実行します

☆保存レイアウトを現用で使用する場合は、「選択」の上、「レイアウトを現用へ読込」を実行します

☆保存レイアウトを削除する場合は、「選択」の上、「レイアウトを削除」を実行します

レイアウト名	保存・読込先	実行ボタン
<input type="radio"/> 現用		現用を保存先へ保存
<input checked="" type="radio"/> graph	現用	レイアウトを現用へ読込
		レイアウトを削除

監視モニターへ戻る

- ①作成したgraphグループを本番へ反映するため、graphを選択
- ②「レイアウトを現用へ読込」ボタンをクリック

レイアウト作成

5 監視モニターで確認

5.1 現用レイアウトで確認



切替直後は次の監視サイクルまで正しく表示されない